

ハンセン病医学 夏期大学講座

ハンセン病に関する最新の知識や
国際協力の現状、将来展望などをお伝えします

2026年8月18日(火)・19日(水) **2日間**

※ **参加費無料** / 現地参加者の交通費・宿泊費・昼食代等は自己負担、持ち込み昼食用の飲食スペースあり(資料館内)
1日のみの参加もOK 2日目午前中は、3コース同時開催のため1コース選択
回復者との交流会は感染状況等により変更、中止の可能性あり
現地参加者の定員を超えた場合は抽選とし、結果はメールにてご案内

会場

- ① 国立ハンセン病資料館(東京都東村山市青葉町4-1-13)
- ② 国立健康危機管理研究機構(JIHS)国立感染症研究所ハンセン病研究センター(東京都東村山市青葉町4-2-1)
- ③ 国立療養所多磨全生園(東京都東村山市青葉町4-1-1)

対象

医療系学生、医療関係者など

最新情報は、笹川保健財団の
HPでご確認ください

笹川保健財団



プログラム

8/18(火) **総合コース(基礎医学講義)** オンライン配信あり・現地定員100名 **会場** 国立ハンセン病資料館映像ホール ※講義と講義の間は5分間の休憩あり

8:40 開 場
9:00 主催者挨拶:厚生労働省 健康・生活衛生局難病対策課
9:05-9:55 らい菌の生物学とハンセン病の免疫応答:阿戸 学(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所ハンセン病研究センター センター長)
10:00-10:50 ハンセン病の臨床(仮):野嶋 浩平(国立療養所奄美和光園 皮膚科医長)
10:55-11:45 ハンセン病の歴史:森 修一(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 客員研究員)
11:45-13:00 昼休憩
13:00-13:50 世界のハンセン病(仮):講師調整中
13:55-14:25 海外のハンセン病流行地の取り組み(仮):講師調整中
14:30-15:00 ハンセン病の看護:安藤 早苗(国立療養所多磨全生園 副看護師長)
15:05-15:35 ハンセン病の介護:岩崎 徹也(国立療養所多磨全生園 介護長)
15:40-16:10 質疑応答・総合討論(30分予定) 進行役:阿戸 学
16:10 挨拶:公益財団法人笹川保健財団 会長 喜多 悦子

8/19(水)

②-1
医学コース
(検査・実習)

現地定員
15名
(オンライン
配信なし)

会場
ハンセン病
研究センター

講師 原田 俊彦、宮本 友司、深野 華子、森 修一、山下 翠子
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター所属)

②-2
看護福祉コース
(講義と演習)

現地定員
30名
(オンライン
配信あり)

会場
多磨全生園または
国立ハンセン病
資料館

内容・講師 a)「認知症のケア」
松本 靖(国立療養所多磨全生園 認知症看護認定看護師)
b)「入所者に寄り添うフットケア」
山上 由美(国立療養所多磨全生園 副看護師長)

②-3
国際医療コース
(講義とグループ
ディスカッション)

現地定員
25名
(オンライン
配信あり)

会場
国立
ハンセン病
資料館

内容・講師 「ハンセン病と国際保健」
馬場 洋子ほか

13:30-15:30

回復者との交流会 (オリエンテーション・
交流会・意見交換懇親会)

現地定員30名
(オンライン配信なし)

会場 多磨全生園、ハンセン病研究センター及びハンセン病資料館

申し込み方法

Googleフォームより
お申し込みください。
(URLまたはQRコード)

<https://forms.gle/EBS7GvSfNiHiuFjR6>



申込締切

オンライン…8/14 17:00まで
現地参加…8/12 17:00まで